

2018年度から ABC検診(胃がんリスク検診)を オプションとして追加します!



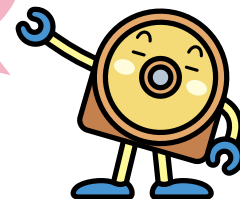
ABC 検診ってどんなもの?

ABC検診(胃がんリスク検診)とは、胃がんの主な原因と考えられている「ピロリ菌」の感染の有無と、胃粘膜の萎縮・炎症の有無を調べる「ペプシノゲン」を採血で判定する検査です(胃がんそのものを見つけ出すものではありません)。胃がんには、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染と、それに伴う胃粘膜の萎縮が強く関与していることがわかっており、この検査をすることで「胃がんになりやすい/なりにくい」を判断することができます。

ABC 検診のメリット

血液検査で判定するため、検査を受ける方の負担が少なく済みます。また、ピロリ菌に感染していた場合は別途除菌することにより、胃がん発生の抑制につながることができます。

ABC 検診は、
みなさまの「カラダ」に
やさしい検診です!



ABC 検診の判定

判定結果は以下のようにA～Dに分けられます。

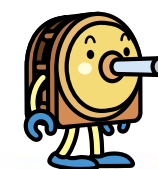
判定結果	ピロリ菌	ペプシノゲン	胃がんのリスク(発生率)
A群(健康な状態)	－	－	ほぼゼロ
B群(胃潰瘍や十二指腸潰瘍に注意)	＋	－	1,000人に1人
C群	＋	＋	500人に1人
D群(胃がんのリスクが高い)	－	＋	80人に1人

※判定にはこのほか「E群(ピロリ菌除菌済み)」があります。

ABC 検診の補助制度

日立健保では、2018年度から、ABC 検診をオプションとして追加し、**2018年度～2020年度の3年間で1回の受診を推奨しております。**(2021年度以降は対象年齢を35歳のみに変更予定です。)

	対象年齢	補助上限額	検査方法	備考
ABC 検診 (胃がんリスク検診)	35歳以上	3,500円	ヘリコバクター・ピロリ抗体検査・ ペプシノゲン法検査・ABC判定	左記3項目すべてを実施していない場合は補助対象外



検査方法のすべてを
実施していないと
補助の対象となりません

便中ヘリコバクター・ピロリ抗原検査は
補助対象外です



なお、下記に該当する方は事前に受診機関への申告が必要な場合がありますので、健診機関の案内にしたがって事前申告および受診可否の確認をお願いします。

ピロリ菌除菌
治療を
受けたことが
ある方

明らかな
上部消化器症状
のある方

胃切除後の方

上部消化器疾患
治療中の方

胃不全の方

胃酸分泌抑制剤
(PPI)を使用
している方

